

案内板ができました！

史跡白山平泉寺の入り口にあたる「史跡エントランス広場（菩提林入り口）」に新しい案内板が設置されました。

案内板の高さ、幅は、それぞれ約2mです。近くに設置してある地形模型とセットで見ていただくことにより、史跡平泉寺の概要がご理解いただけると思います。

中世の平泉寺参拝ルートを散策されたい方は、ここから歩いて菩提林を登られることをお勧めします。



新たに設置された案内板

越前禅定道探訪記 その14 河上御前社跡

小原峠から西俣谷川沿いに約800m下ったところに河上御前社跡がある。社跡は川から30m程登った山の中腹にあり、川沿いからは、なかなか見つけにくい場所にある。

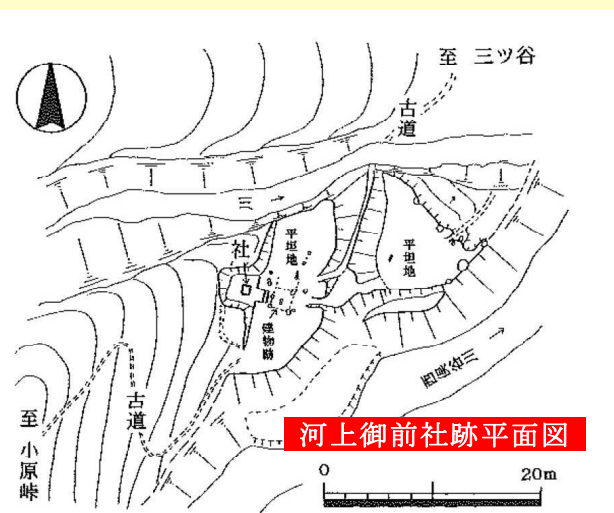
社跡への古道は、初雪が降った頃、小原峠から川沿いに約300m下った途中から左手に見えてくる（左下写真）。この道は樹木に覆われており、かなり前に廃道になったと考えられる。この道をたどっていくと、河上御前社跡の背後に出る。

この社跡は尾根の先端部を2段に造成した平場となっている。上の平場には銅板造りの社が建つが、これは昭和60年に川上御前旧跡保存会が建立したものである。

ここは白山十二宿の内の第七宿「河上」に相当し、平泉寺が天正11年(1583)に再興するあたり、ここにあった泰澄大師自作とされる女神像を平泉寺の本社に移したとされる。



河上御前社跡



河上御前社跡平面図



姿を現した古道

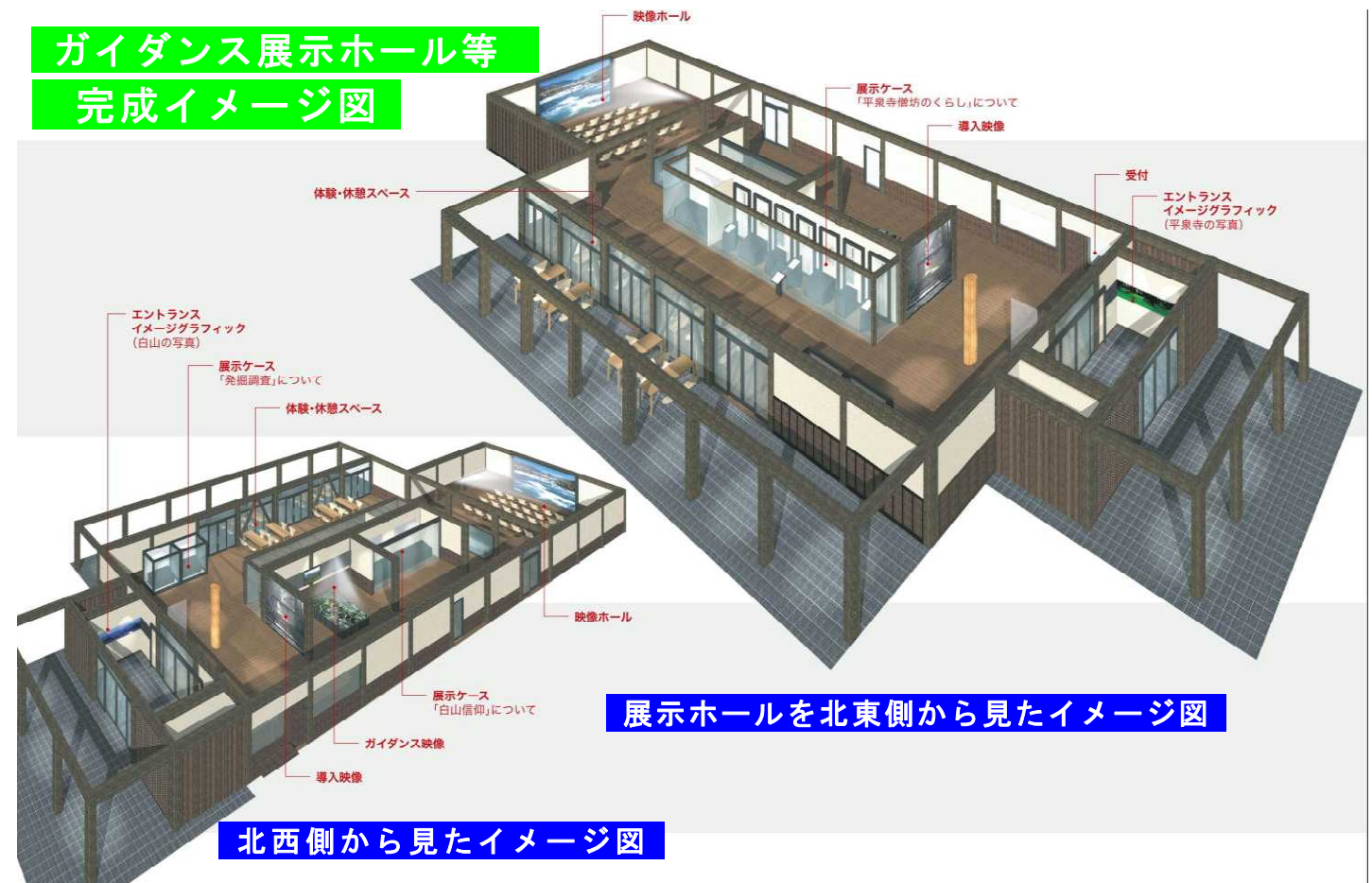
国史跡平泉寺の整備情報誌

平泉寺かわら版

No. 38 (2011年11月号)

【発行】 勝山市教育委員会 史蹟整備課
【発行日】 平成23年11月24日
【ご意見・ご要望は下記まで】
電話： 0779-88-8113(直通)
メール： shiseki@city.katsuyama.lg.jp

ガイダンス展示ホール等 完成イメージ図



展示ホールを北東側から見たイメージ図

北西側から見たイメージ図

ガイダンス愛称募集 347点の応募 ありがとうございました。

近く、愛称決定！

愛称募集期間(10月13日～11月14日まで)の約1か月間に集まった愛称は347点。県内外から応募がありました。現在、データーの集計中で、12月上旬までには、選考委員会等で採用する愛称が決定される予定です。



応募作品集計中

今号の内容

- 【特集】 こんなものを展示したいな！
ーガイダンス施設の展示品候補ー
- 【連載】 越前禅定道探訪記 その14

こんなものを展示したいな！

ーガイダンス施設の展示品候補ー

ここでは、ガイダンス施設で展示する候補となる遺物を紹介します。全てが中世の平泉寺で使われていたもので、これらの遺物から、およそ500～600年前の平泉寺僧坊内のくらしが垣間見られます。



漆器皿



焼けた米

木箱に入れた状態で見つかりました



箸と箸置き



汁をすくう杓子

食べる

食器



中国製 青花皿



中国製 白磁皿



中国製 青磁皿



包丁と まな板

調理具



おろし皿



越前焼すり鉢

貯蔵具

水や油、酒、米などを入れたのでしょうか



越前焼 甕



越前焼 壺と甕



瀬戸製 天目碗



瀬戸製 茶入

茶道具

(茶の湯がさかんだったようです)



茶臼



石製 風炉

僧侶の生活

(平泉寺僧侶の暮らしが見えてきます)



石製 行火



瓦質火鉢

暖房具 燈火具



灯明皿



六器



青白磁観音像

仏具・信仰



数珠玉



墓塔 (五輪塔)



つちのこ (編み物用のおもり)



武具 (ヨロイの破片)

その他の遺物

(平泉寺からは、化粧具や武具、鉾津など、珍しい遺物が出土しています)



鉾津 (鍛冶屋さんなどで出てくる鉄カス)



中国などからの渡来銭



化粧具 (お歯黒壺と紅皿)



下駄